

## 第58回 北九州市民体育祭卓球競技会

標記大会を以下の要項にて開催いたしますので多数参加されますようにご案内申し上げます。

1. 主催 北九州市・北九州市教育委員会・(公財)北九州市体育協会  
特定非営利活動法人北九州市レクリエーション協会
2. 主管 北九州市民体育祭実行委員会・北九州市卓球協会
3. 後援 朝日新聞社・毎日新聞社・読売新聞西部本社・西日本新聞社
4. 協賛 朝日新聞社・毎日新聞社・読売新聞西部本社・西日本新聞社
5. 日時 令和2年 9月20日(日) 8時30分開館。9時開始。(シングルスは11時予定)
6. 会場 北九州市立 総合体育館 (第1・第2競技場)  
北九州市八幡東区八王寺町4-1 TEL 093-652-4001
7. 種目 ◎ 過去に当協会主催大会に於いて、A~C級は2位、D級は4位までのチーム・選手は各上位のランクで申し込みください。詳細については卓球協会にて行います。  
※団体戦は男女団体は3人3単制、中学団体は4単1複6人制  
①男子団体A級 ⑤女子団体A級  
②男子団体B級 ⑥女子団体B級  
③男子団体C級 ⑦女子団体C級  
④中学男子団体 ⑧中学女子団体  
※シングルスの出場は1種目に限定  
⑨男子単A級 ⑬中学男子単 ⑰女子単A級 ⑳中学女子単  
⑩男子単B級 ⑭ホープス男子単 ⑱女子単B級 ㉑ホープス女子単  
⑪男子単C級 ⑮カブ男子単 ⑲女子単C級 ㉒カブ女子単  
⑫高校男子単 ⑯バンビ男子単 ㉓高校女子単 ㉔バンビ女子単
8. 参加資格 本年度北九州市卓球協会より(公財)日本卓球協会に登録した者、  
又は市内在住、在勤者であること。  
※団体は登録チームに限る
9. 参加費 団体1チームにつき2,400円(但し高校以下1,500円)  
シングルスは無料とする。
10. 競技方法 ◎ 現行の日本卓球ルールを適用しません。ただしタイムアウト制は適用しません。  
◎ 使用球は公認球(ニッタク製)  
※ 団体戦は初戦のみ勝敗が決まっても最後まで行います。  
ただし勝敗決定後は3ゲームマッチとします。  
※ 進行上3ゲームマッチもありえます。
11. 申込締切 8月20日(木) ※以後は受け付けません。
12. 申し込み 申込用紙に必要事項を記入の上、参加料の振り込みとともに、下記まで申し込みください  
**〒807-8799 八幡南郵便局留 石田卓球場**  
連絡先電話 石田千栄子(090-5938-9592)  
参加料は振替口座(郵便振込み)に限る。  
口座番号 01770-6-83805 (北九州市卓球協会)
13. その他 ※ 表彰は各種目とも3位までとします。  
※ 競技中の事故については応急処置のみといたします。チームの責任者は、  
事故への対処のため必ずチームでスポーツ保険等に加入してください。  
※ 選手、応援者の体育館への出入りは、2階出入り口からお願いします。  
※ 車は中央公園駐車場に駐車して下さい。

## 北九州市卓球協会における新型コロナウイルス感染症対策(2020年7月1日版)

北九州市卓球協会では、卓球練習、競技大会の再開を念頭に『新型コロナウイルス感染症対策』を作成しました。このガイドラインは、日本スポーツ協会による「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」をもとに日本卓球協会のガイドラインに掲載されている競技特性を踏まえた注意事項等を加味して作成したものです。

なお、ここに述べる感染対策は、現段階で得られている知見に基づくものであり、今後の科学的根拠の蓄積や、流行状況の変化に応じて随時変更されてゆくべきものです。従って、2～3週毎の改訂を予定しております。

### 目次

#### 1. 卓球練習再開時の感染防止策について

##### (1) 卓球練習再開時の留意事項

##### (2) 練習環境整備

- 1) 消毒液の設置
- 2) マスク等の準備
- 3) 手洗い場所・洗面所(トイレ)
- 4) 更衣室
- 5) 卓球場内での留意事項
- 6) 練習内容について

#### 2. 卓球競技大会開催時の感染防止策について(主催者)

##### (1) 卓球競技大会の企画、参加者募集時の留意事項

##### (2) 当日の参加受付時の留意事項

##### (3) 卓球競技大会参加者への対応

- 1) 体調の確認
- 2) マスク等の準備
- 3) 大会参加前後の留意事項

##### (4) 卓球競技大会主催者が準備すべき事項

- 1) 会場入り口、受付
- 2) 手洗い場所・洗面所(トイレ)
- 3) 更衣室

##### (5) 卓球競技会場、試合進行上の特別処置

- 1) 換気
- 2) 卓球台の設置、卓球台・ボールの消毒
- 3) 選手・コーチ用ベンチ、審判席、カウンター等の消毒
- 4) 試合

3. 卓球競技大会開催時の感染防止策について(参加者)

(1) 参加者が遵守すべき事項

(2) 試合を行う際の留意点

## 1. 卓球練習再開時の感染防止策について

### (1) 卓球練習再開時の留意事項

- ① 練習施設の使用再開は、都道府県知事の感染防止方針に準拠する
- ② 練習参加者数は、都道府県知事の方針のもと上限人数を定める
- ③ 練習参加者の氏名、連絡先を把握すること
- ④ 以下の事項に該当する者には練習参加の見合わせを求めること
  - ・ 体調がよくない場合(例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)
  - ・ 同居家族や身近な知人に新型コロナウイルス感染が疑われる方がいる場合
  - ・ 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- ⑤ 当面の間、ダブルスの練習を避けることを推奨する(ITTF ガイドラインに準拠)

### (2) 卓球場の練習環境整備

#### 1) 消毒液の設置

練習場入り口には、70%アルコール(エタノール)などの手指消毒薬を配備する

#### 2) マスク等の準備

練習参加者はマスクを持参すること

練習中のマスクの着用は不要であるが、練習以外の時間、特に会話する時には、マスクの着用を求める。

#### 3) 手洗い場所・洗面所(トイレ)

- ① 手洗い場には石鹸(ポンプ型が望ましい)を用意すること。
- ② 「手洗いは 30 秒以上」等の掲示をすること。
- ③ 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル(使い捨て)を用意する。参加者にマイタオルの持参を求めてもよい。

#### 4) 更衣室

更衣室は原則として使用しないこと

練習が出来る服装での来場を推奨する

#### 5) 卓球場内での留意事項

- ① 広さに応じて、一度に練習する参加者の数を制限すること(2m以上の間隔が維持されること)。
- ② 練習参加者の交代時などに加え、2 時間ごとに窓を開ける等、換気に配慮すること。
- ③ ミーティング等において、三つの密を避けること、会話時にマスクを着用するなどの感染対策に十分に配慮すること
- ④ 卓球台は十分な間隔を開けて設置する(4m 以上を推奨)
- ⑤ 練習場内で複数の参加者が触れると考えられる場所(ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、椅子等)については、こまめに消毒すること。  
次亜塩素酸水(100ppm)、70%アルコール、次亜塩素酸ナトリウム(0.05%希釈)、界面活性

剤等で消毒する

⑥ 卓球台およびボールは、練習の合間に次亜塩素酸水(100ppm)にて消毒する

【参考】卓球台およびボールの消毒

次亜塩素酸水(100ppm)の使用を推奨します

次亜塩素酸ナトリウム希釈液と間違わないようご注意ください

- ・ 70%アルコール:使用不適;卓球台、ボールの品質に悪影響を与えます
- ・ 塩素系漂白剤(次亜塩素酸ナトリウム0.05%に希釈):同上
- ・ 台所用合成洗剤(界面活性剤を含む製品):大丈夫と思われるが、卓球台、ボールへの影響は検証されておらず、現時点で保証できない

6)練習内容について

- ① 当面の間、ダブルスの練習を避けることを推奨する(ITTFガイドラインに準拠)
- ② 当面の間、練習中のチェンジコート、チェンジエンドは行なわない(ITTFガイドラインに準拠)
- ③ 複数の者が同じボールを使用することを避ける様に努めること(複数コートのボールの混在を避ける)
- ④ タオルの共用はしない
- ⑤ 飲料は自分専用のもので飲み、回し飲みはしない
- ⑥ 卓球台の上で手を拭いたりしない
- ⑦ シューズの裏を手で拭くことはしない

2. 卓球競技大会開催時の感染防止策について(主催者)

卓球競技大会開催時の感染防止策については、都道府県知事の方針に反しないことが大前提です。その上で大会主催者は、その運営に当たり以下の事項にご留意下さい。

(1)卓球競技大会の企画、参加者募集時の留意事項

- ① 競技大会は、都道府県知事の感染防止方針に準拠して開催する
  - ② 参加者数は、都道府県知事の方針のもと上限人数を定める
  - ③ 当面の間、競技種目はシングルスのみとすることを推奨する(ITTFガイドラインに準拠)
  - ④ 当面の間、競技大会は無観客とすることを推奨する
  - ⑤ 以下の事項に該当する者には参加の見合わせを求めることを事前に周知すること(雛形1)
- ・ 体調がよくない場合(例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)
  - ・ 同居家族や身近な知人に新型コロナウイルス感染が疑われる方がいる場合
  - ・ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- ⑥ 参加希望者に以下の項目の遵守を文書等にて周知すること(雛形1)
- ・ マスクを持参すること(参加受付時や着替え時等のスポーツを行っていない際や会話をする際にはマスクを着用すること)

- ・こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること
- ・他の参加者、主催者スタッフ等との距離(できるだけ2m以上)を確保すること(障がい者の誘導や介助を行う場合を除く)
  - ・大会中に大きな声で会話、応援等をしないこと
  - ・感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと
  - ・大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること

## (2) 当日の参加受付時の留意事項

- ① 受付には、手指消毒剤を設置すること
- ② 発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は入場しないように呼び掛けること(状況によっては、発熱者を体温計などで特定し入場を制限することも考えられる)
- ③ 人と人が対面する場所は、三つの蜜を避けるよう配慮すること
- ④ 参加者が距離をおいて並べるように目印の設置等を行うこと
- ⑤ 受付を行うスタッフには、マスクを着用させること
- ⑥ インターネットやスマートフォンを使った電子的な受付の一層の普及を図り、受付場所での書面の記入や現金の授受等を避けるようにすること
- ⑦ 参加者から以下の事項を記載した書面の提出を求めること(雛形2)

- ・氏名、年齢、住所、連絡先(電話番号)

### ※ 個人情報の取扱いに十分注意する

大会エントリー時に連絡先が登録されていれば、当日の提出は氏名と体温、症状の有無のみで可

- ・大会当日の体温
- ・大会前2週間における以下の事項の有無
- ・平熱を超える発熱(おおむね 37 度5分以上)
- ・咳(せき)、のどの痛みなど風邪の症状
- ・だるさ(倦怠(けんたい)感)、息苦しさ(呼吸困難)
- ・嗅覚や味覚の異常
- ・体が重く感じる、疲れやすい等
- ・新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
- ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方が発生
- ・過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触

## (3) 卓球競技大会参加者への対応

### 1) 体調の確認

主催者は、(2)－⑦に掲載されている事項を記載した書面の提出を求めること

### 2) マスク等の準備

主催者は、参加者がマスクを準備しているか確認すること

なお、競技中のマスクの着用は不要であるが、参加受付、着替え、表彰式等の競技外の時間、特に会話する時には、マスクの着用を求める。

### 3) 大会参加前後の留意事項

イベントの前後のミーティングや懇親会等においても、三つの密を避けること、会話時にマスクを着用するなどの感染対策に十分に配慮すること

## (4) 卓球競技大会主催者が準備すべき事項

### 1) 会場入り口、受付

- ① 手指消毒剤の設置
- ② 受付等にて人と人が対面する場合は、三つの密を避けるよう配慮すること

### 2) 手洗い場所・洗面所(トイレ)

- ① 手洗い場には石鹸(ポンプ型が望ましい)を用意すること
- ② 「手洗いは30秒以上」等の掲示をすること
- ③ 手洗いで手を拭くためのペーパータオル(使い捨て)を用意する。参加者にマイタオルの持参を求めてもよい

### 3) 更衣室

- ① 一度に入室する参加者の数を制限すること
- ② 室内又はスペース内で複数の参加者が触れると考えられる場所(ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、椅子等)については、こまめに消毒すること
- ③ 換気扇を常に回す、換気用の小窓を開ける等、換気に配慮すること

## (5) 卓球競技会場、試合進行上の特別処置

### 1) 換気

- ① 換気設備を適切に運転し、十分な換気を行なうこと
- ② 競技場内の部屋(役員室、更衣室)の利用にあたっては、2時間ごとに換気を行なうこと

### 2) 卓球台の設置、卓球台・ボールの消毒

- ① 卓球台は十分な間隔を開けて設置する(4m以上)
- ② 卓球台およびボールは各試合終了後に次亜塩素酸水(100ppm)にて消毒する

## 【参考】卓球台およびボールの消毒

次亜塩素酸水(100ppm)の使用を推奨します

次亜塩素酸ナトリウム希釈液と間違わないようにご注意下さい

70%アルコール:使用不適;卓球台、ボールの品質に悪影響を与えます

塩素系漂白剤(次亜塩素酸ナトリウム)0.05%に希釈:同上

- ・ 台所用合成洗剤(界面活性剤を含む製品):大丈夫と思われるが、卓球台、ボールへの影響は検証されておらず、現時点で保証できない

### 3) 選手・コーチ用ベンチ、審判席、カウンター等の消毒

次亜塩素酸水(100ppm)、70%アルコール、次亜塩素酸ナトリウム(0.05%希釈)、界面活性剤等で各試合終了後に消毒する

#### 4) 試合

当面の間、ゲームごとのチェンジエンドは行なわない(ITTF ガイドラインに準拠)

### 3. 卓球競技大会開催時の感染防止策について(参加者)

#### (1) 参加者が遵守すべき事項

- 1) 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせること
  - ・ 体調がよくない場合(例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)
  - ・ 同居家族や身近な知人に新型コロナウイルス感染が疑われる方がいる場合
  - ・ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- 2) マスクを持参すること  
卓球を行っていない時や会話をする際にはマスクを着用すること
  - 3) こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること
  - 4) 他の参加者、主催者スタッフ等との距離(できるだけ2m以上)を確保すること  
(障がい者の誘導や介助を行なう場合を除く)
  - 5) 会場で大きな声で会話、応援等をしないこと
  - 6) 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと
  - 7) 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること
  - 8) 大会前後のミーティングや懇親会等においても、三つの密を避けること

#### (2) 試合を行う際の留意点

- 1) 当面の間、チェンジエンドは行なわない(ITTF ガイドラインに準拠)
- 2) タオルの共用はしない
- 3) 飲料は自分専用のもので飲み、回し飲みはしない
- 4) 卓球台の上で手を拭いたりしない
- 5) シューズの裏を手で拭くことはしない
- 6) 握手などの身体を接触させる挨拶は行なわない